

令和3年度 叙勲・顕彰 (敬称略・順不同)

叙勲：春の藍綬褒章 神原 正子
// 早野紀佐子

法務大臣表彰：

伊藤 昌宏(令和3年10月7日逝去)
高村 幸弘・新倉 昌子

全国保護司連盟理事長表彰：

本道 秀夫

全国保護司連盟理事長表彰(家族功劳)：

松尾 恵子

関東地方更生保護委員会委員長表彰：

沖山 弘隆・長田 豊幸・松井 一雄
宮坂 義則

関東地方保護司連盟会長表彰：

大塚 好雄・松尾 史生

東京保護観察所長表彰：

井門 敏明・樋口 伸一

東京都保護司会連合会会長表彰：

仲田 順浩・中村 國雄

東京保護観察所長感謝状(家族功劳)：

鷺尾すみ子

受賞、誠におめでとうございます。
謹んでご報告申し上げます。

広報部会 (令和3年6月28日現在)

担当副会長：伊藤 昌宏(大井分区)

広報部長：根本 貴司(大井分区)

顧問：但馬 一誠(品川分区)

品川分区：宮内 好昭 渡邊久美子

大崎分区：花田ちえ子 古谷 洋子

大井分区：小川 雅之 加藤 大

門倉 元二 早野紀佐子

堀江 荘平

荏原東分区：伊藤 雅志 沖山 弘隆

谷川 寛 深津 範子

荏原西分区：鏑木 智百 高岡千賀子

吉田 茂子

令和3年10月7日広報部担当副会長の
伊藤昌宏さんが、お亡くなりになりました。
心よりお悔やみ申し上げます。

退任 (敬称略・順不同)

年齢上限により 9月16日付 青木 義雄

ご逝去により 10月7日付 伊藤 昌宏

特例再任 (敬称略・順不同)

5月14日付 高村 幸弘

9月16日付 太田 明 松澤 利行

田中 元雄

新任 (敬称略・順不同)

5月15日付 金子みゆき 相馬 敏幸

加藤 大

9月17日付 大倉 考裕 野村 高士

三瓶 恭行

現状

会員数 95名

定数 132名

充足率 72.0%

編集後記

広報部長 根本 貴司

保護司の活動の中でも ICT化は避けて
通れない現実です。

インターネット・コンピューター、一番
縁遠い私が広報部長、家族からは失笑さ
れました。広報誌がこのように発行でき
たのは、会長始め部員の方々のお陰だと
感謝しております。また、原稿を執筆し
てくださった皆さまには、心から御礼申
し上げます。難しい言葉や今まで聞いた
こともなかった熟語、執筆者の皆さまの
表記や原文を通して勉強することができ
ました。これから保護司としても、日々
勉強、成長していきたいと思ひます。



新年 おめでとうございます



発行者：品川区保護司会
編集：保護司会広報部

表紙写真
戸越八幡神社 品川区戸越2-6-23
(撮影日：令和3年12月15日)
安政二年に名工渡辺喜右衛門家によって建立された社殿
の特徴は、向拝軒唐破風には精巧で力強い籠彫りが施さ
れ水引虹梁の絵様が陽刻され、又本殿後方に内陣を設け
宮殿(厨子)をかたどる三間軒唐破風付き二軒の流れ屋根
を表す造りです。この江戸時代の技法を未永く後世に残す
と共に社殿を北側後方に曳家し、境内を有効に活用する
事を目的に改修事業を斎行致しました。



新年のご挨拶

品川区保護司会 会長 松尾 和英

皆様新年あけましておめでとうございます。
令和3年5月の品川区保護司会総会にお
いて第27代会長に推挙され就任しました
松尾でございます。若輩者ではございま
すが保護司会の為に全力で務めさせてい
たできます。

私は幼少期よりボーイスカウト活動をし
ておましてボランティアの基礎を学ぶこ
とができました。日本のボーイスカウトを
設立し初代総長となられた方で東京市第7
代市長などを歴任しておりました、後藤
新平氏の言葉に【人のお世話にならぬよう、
人のお世話をするよう、報いを求めぬよう】
と自治三傑という言葉を残してくださいま
した。

彼は、『自治こそは人間生活の根源であ

り、「信」と「愛」の奉仕こそ社会生活の根
源である』と考えて【自治三傑】をボーイ
スカウトの訓示として掲げております。

そんなボランティア活動を永年続けてま
いりました私にとって保護司とは究極のボ
ランティアであると考えております。

品川区保護司会は犯罪や非行をした人た
ちの立ち直りを助け、誰もが住みやすい明
るい社会・品川区を目指します。そのため
には品川区ならびに関係機関のご協力と品
川区保護司会員のみなならず、品川区更生保
護女性会、品川区 BBS 会の会員のお力添
えをお願いいたします。

コロナ禍の自粛も収まりつつありますの
で、今後は皆様と一緒に全力で品川
区とともに進んでまいりたいと思ひます。



新年のご挨拶

東京保護観察所 所長 古川 芳昭

皆様には健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。昨年は、コロナの感染防止に最大限の配慮をした「新しい日常」の中で、更生保護の諸活動に取り組んでいただきましたことに心から感謝申し上げます。これからも「ウィズコロナ」を前提とした活動が求められるものと思われまますので、引き続き御理解と御協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

さて、昨年はICT化が大きく進んだ年となりました。8月からは「保護司専用ホームページ」の運用が開始され、データベースの活用や保護観察所とのやり取り等のオンライン化が推進されています。また、各地区保護司会においても、それぞれの地域

特性等を踏まえたICT化により、事務の効率化や効果的な研修等が進められております。当庁としましても、各保護司会ごとに配置されたICT化推進担当保護司の皆さんと良く連携しつつ、東京の更生保護におけるICT化を進めて参りたいと思います。

地域における推進の拠点となるのは更生保護サポートセンターです。品川区においては大変立派な施設に充実した設備を備えておられますので、更なる進展を御期待申し上げます。様々な機会を通じて課題と対策等について皆様と共有しながら、ICT化による保護司活動の環境整備を進めて参りたいと存じますので、本年もよろしく願いいたします。



年頭にあたって

品川区長 濱野 健

新年あけましておめでとうございます。品川区保護司会の皆様には、健やかな新年を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。

犯罪や非行をした人たちの立ち直りと犯罪や非行を防止する更生保護活動に加え、地域の防犯活動や青少年健全育成活動など、皆様方の熱意を持った献身的な活動に厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年の「品川区社会を明るくする運動」は、コロナ禍により、大きな影響を受けましたが、保護司会を中心とした皆様の創意工夫により、各駅頭での街頭広報活動が成功裏に開催することができました。また、中央大会（区民愛のつどい）においては、地域の美化活動など積極的に携わっ

ている児童生徒会をはじめ、文化スポーツにおける優秀に成績を収めた青少年を数多く表彰できました。日々の努力を惜しまず、持てる才能に満ち溢れた児童・生徒の皆さんに会うことができ、将来が大変頼もしく感じてなりません。

コロナ禍においては社会情勢の急激な変化の中で孤立し、不幸にも非行や犯罪に陥った人たちが、再び社会の一員としての立ち直りに寄り添われ、心の拠り所となっています。区といたしましても、安全・安心な地域づくりを推進してまいりますので、引き続き区政へのご理解ご協力をお願いいたします。結びにあたり、品川区保護司会の益々のご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。



新年のごあいさつ

東京保護観察所 保護観察官 田村 佑介

新年あけましておめでとうございます。品川区保護司会の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日夜地域における更生保護活動に御尽力いただき、大きな成果を上げていただいておりますことに、心から感謝と御礼を申し上げます。

昨年度から引き続きコロナ禍にある中、様々な諸活動や保護観察等対象者との面接にも大きな影響を受け、感染対策に留意しながらの対応等、平時と異なった柔軟な対応を求められ苦慮されたことと、日頃からご尽力いただいていることに改めて感謝申し上げます。本年もどうぞよろしく願いいたします。



力を合わせて

品川区教育委員会 教育長 中島 豊

新型コロナウイルスの感染拡大は、学校教育にも大きな影響を及ぼしました。マスクの着用、黙食、合唱のない音楽授業…、児童・生徒は様々な制限の中で、真摯に勉学に励みました。昨年秋の宣言解除後、各学校では教育活動の平常化と一層の工夫を図り、感染予防と学びの保障とのバランスを保ちつつ、社会の一員としての役割を果たせる児童・生徒の育

成を目指しております。

品川区保護司会の皆様におかれましては、地域の防犯活動や青少年健全育成活動など、地域の大きな力として、安全・安心なまちづくりへの協働を進めていただいております。今年こそ平穏な日々を積み重ね、犯罪や非行を減らして、誰もが心地よく暮らせる世の中を共に築き上げていきたいと考えております。



心新たに感謝を込めて

品川区地域振興部長 久保田 善行

新年あけましておめでとうございます。品川区保護司会の皆様におかれましては、不幸にして犯罪や非行に及んだ人々の立ち直りと犯罪や非行を防止する更生保護活動に加え、地域の防犯活動や青少年健全育成など、皆様方の熱意と献身的な活動に心より感謝申し上げます。

感染対策に万全を期し、社会を明るくする運動を開催できたことは大きな成果でありました。また、ICTを活用され、制限の多い中で熱心に活動されております皆様のご活躍は、地域にとっても大変頼もしい存在であります。

最後に皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

昨年、コロナ禍という大きな困難の中、



新年のご挨拶

品川区社会福祉協議会 会長 池田 彰孝

新年あけましておめでとうございます。活動は地域にとって貴重であり、必要不可欠な存在となっております。あらためて敬意を表します。当協議会にも長引く経済活動の低下により生活困窮に瀕している方からの相談が多く寄せられているところです。以前の生活に戻るまでの道のりは時間が必要かと思われませんが、これからも地域の活性化につながるお手伝いを継続して、明るい希望のもてる年にしてまいりたいと考えております。貴会の発展とみなさまのご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶いたします。



新年のごあいさつ

品川区民生委員協議会 会長 岡村 佐智子

あけましておめでとうございます。品川区保護司会の皆様には、穏やかな新年をお迎えの事と存じます。経験した事のないコロナウィルス感染により不自由な活動を余儀なくされました。人々の生活様式も変化し、家庭内での児童虐待、ストレスによる他人への暴力など問題も増えてきております。地域での繋がりを大切にして、保護司の皆様のお力をお借りしながら、私たち民生委員・児童委員も活動して参る所存でございます。「一日も早くこの異常な事態が収まりますように」と祈るばかりです。本年も皆様のご活躍とご健勝を祈念いたし、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

警視庁品川警察署少年係長 大河原 一樹

あけましておめでとうございます。品川区保護司会の皆様には、日々の警察活動にご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。近年のコロナ禍やSNSの普及により、少年を取り巻く環境が急激に変化しました。それに伴い、人間関係の構築が希薄となる時代背景の中、命と家族の絆の大

切さを伝える皆様の活動が求められる社会情勢にあります。私たち警察も青少年の健全育成に取り組んでいく上で、皆様のお力をお借りしながら精一杯取り組んでいきます。本年も皆様のご活躍とご健勝を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



年頭のごあいさつ

品川区更生保護女性会 会長 松澤 麗子

あけましておめでとうございます。保護司会の皆様には、穏やかな新年を迎えられました事と心よりお慶び申し上げます。令和2年の4月より発令されましたコロナ禍による緊急事態宣言も、令和3年9月末には解除となりましたが、まだまだ安心して生活を送れる事に不安が残っています。この2年余りほとんどの活動が出来ず人と人の距離が遠ざかり、なす術もなく時間が過ぎてしまいました。改めて自由に歩き回れる生活の大切さを感じました。令和3年7月には「社会を明るくする運動」が実施され、青少年の善行表彰が開催され、心温まる光景を見る事が出来ました。とても良い思い出です。今年には子供達が楽しい一年を送れるように祈っております。



新春のごあいさつ

品川区BBS会 副会長 吉池 竜哉

新年おめでとうございます。令和4年の年頭に当たり、品川区保護司会の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。今なお、長期にわたる新型コロナウイルス感染症の流行により、未曾有の危機に直面する状況が続いている中、平素からの保護司会の方々によるご支援とご指導に感謝申し上げます。我々品川区BBS会は活動制限に加えて現在会員の減少にも伴い、活動が十分に行えていない状況でございます。しかし、ウィズコロナ・ポストコロナの時代に向けて自ら未来を切り拓けるように当会も果敢に挑戦してまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



新年のご挨拶

東京桐友会品川支部 支部長 吉田 英一

皆様新年明けましてお目出度うございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。さて、政府は昨年9月末日で、緊急事態宣言を解除しました。この日まで、1年半ものマスク生活を経験したうえ、红灯の街からも遠ざかり、会議・会合等全て中止と人流を抑制する措置がとられ、異質な生活を余儀なくされました。その為、私事で恐縮ですが、「宅飲み」に切り替えたところ、糟糠の妻が相手では、氣勢は上がり、酒量も増えず、自然と肝臓の骨休めができたようであります。新型コロナで酒類提供の自粛を行った知人の寿司屋は、第6波への備えをしっかりと行うよう話しておりました。



品川分区活動報告

— 2024年問題 —

品川分区

品川分区長 前田 純一

品川分区では、このコロナ禍においても英知を結集して、更生保護の活動の連鎖を止めないという事を最大の目的とし、様々な取り組みを行ってまいりました。

- 1. 会員同志の連絡、コミュニケーションについて
LINE アプリを活用し、事務連絡、報告等を円滑かつ迅速に伝えることが出来る様になりました。課題としては、登録者の割合が現在72%であり、今後個々のネット環境等を整備し100%を目指します。また、利用規定の整備に取り組んでおります。
- 2. 社会を明るくする運動 街頭広報活動
更生保護のロゴ入りティッシュの手渡し配布は感染防止の観点から中止。そこでオリジナルのチラシを作成し参加者に社明運動の意義・目的の再認識を呼びかけました。
- 3. ICTの活用
昨年は、分区HPを作成、本年度は、ZOOM会議の実現を目指しZOOM会議講習会を実施。会議の開催、会議への参加に向けネット環境等、課題を確認しました。

- 4. 品川観察協会との取り組み
マスクをしたホゴちゃん、サラちゃんのロゴ入りアルコールディスペンサー(定量吐出器)を作成し正会員に配付し、地域への更生保護活動の啓発活動を行いました。町会の方からは大変喜ばれました。
- 5. 最重要課題
最後に品川分区では、現役保護司の方が年齢上限による退任により大幅に会員数が減少する年2024年を『品川分区2024年問題』と呼んでおり刻々と現実味を帯びてきております。この問題はそう簡単なものではありませんが、ここは品川分区の団結力で、きっと乗り越えることが出来ると信じております。



アルコールディスペンサー ZOOM会議開催、参加要領勉強会(令和3年12月13日) 社会を明るくする運動オリジナルチラシ



大崎保護観察協会の紹介

大崎分区

大崎分区長 山口 直英

昨年7月12日から81日間に及んだ緊急事態宣言が解除され、コロナ禍も少し落ち着いて来た様ですが、未だ通常的生活を取り戻す迄には時間が掛かりそうで、保護司の活動、特に対象者との面接等、思うようにならず、もう2年が過ぎようとしております。当分区の活動も満足に出来ておりませんが、今回は大崎保護観察協会を紹介致します。

平成17年5月、小山とし子前分区長から分区長を引き継いだ当時の観察協会の会長は近江清光氏がお勤めでした。私が奉職している西五反田の氷川神社の責任役員をお勤め戴いていることもあり、積極的に会員の拡充のため多くの方々にお声掛け戴きました。現在32名の会員中12名の神社役

員の方々を含む22名の氏子の皆様が会員として日頃更生保護活動への御理解と御協力を戴いております。特に社会を明るくする運動には、準備するティッシュペーパーやチラシ等の配布分の袋詰めや、JR五反田駅頭での街頭広報活動への参加協力、区民まつりでの協賛等を戴いております。又、社明運動の名入りタスキやクリアファイルの作成もお願いしております。その他、毎年恒例の観察協会と分区合同の施設見学のバス代金等の活動費も御協賛戴き保護司活動の大きな拠り所となっております。

平成29年5月、近江会長が退任され、鳥光達司副会長が新会長に就任されました。今後も更なる御理解と御協力を賜わり、親睦を深めて行きたいと思っております。



大井分区の更なる危機

大井分区

大井分区長 千代田 義法

昨年10月7日、当分区副会長の伊藤昌宏氏の訃報に接しました。私は、自身の耳を疑うと共に、全くその訃報を信じることができませんでした。定年まで、まだまだ活躍していただける年数を多く残してのご逝去、一昨年7月9日の小越是誠氏に続いて大井分区重鎮のご逝去。一気に、悲しみと落胆に襲われました。「なぜ?なぜ?」と自問自答の日々となりました。昨年の「大井分区の危機」から、「大井分区の更なる危機」であります。

伊藤昌宏氏は平成11年5月15日保護司拝命。30代と若くして保護司になられ、平成23年からは、副会長を務めておりました。品川区議会議員は20代から、長年に渡り務めておられました。温厚篤実なご

性格でありながら、的確なご意見、情報提供等、大井分区の本当に貴重な存在であられました。唯々、無念でなりません。ご遺族のご心中察するに余りあります。衷心よりご冥福をお祈り申し上げますとともに、生前のご指導に心より感謝申し上げます。

本当に困りました。分区長になったばかりの若輩者の小柄が今後の大井分区活動の舵取りができるのか。不安な日々が続くことが考えられます。本年、会員数が半減する大井分区全員が一丸となって、なんとか会員数回復と研鑽を重ねて、品川区保護司会更生保護活動に尽力していきたいと考えております。



故伊藤昌宏氏



荏原東分区活動報告

荏原東分区

— 過渡期迎えて —

荏原東分区長 井上 耕一

昨年は、誰もが経験した事のない一年でした。新型コロナウイルス感染症の脅威とどのように向き合っていくべきか考えさせられました。

東京保護観察所からの通達もあり活動を自粛せざるを得ない状況のなか、分区総会・本区総会・社会を明るくする運動と、形式を変えて実施されました。

活動自粛の方向で会員同士、顔を合わせる機会が激減しました。4名の先輩保護司が年齢満期を迎える中、特例再任保護司として後輩の指導等をお願いいたしました。

また、コロナ禍によりWeb会議やSNSの導入による急激なIT化が進んでいます。分区としての対応を検討していきたいと考えています。

皆様のご協力により4名の新任保護司候補者を紹介していただきましたことに、感謝申し上げます。

分区としての活動は、10月3日(日)品川区スポーツ大会少林寺拳法大会にて広報活動、10月25日(月)分区第一回定例会、10月30日(土)戸越公園通り(南口・中央)ハロウィンイベントにて広報活動、12月13日ひがし会(研修会)を実施することができました。

現在分区は、過渡期を迎えて活動が停滞ぎみで、大きな痛手ですが、今までとは同じ事を続けるのではなく異なった方法を模索して、運営していきたいと思っております。



ひがし会研修会 荏原警察署生活安全課係長講演(令和3年12月6日)



荏原西分区活動報告

荏原西分区

荏原西分区長 芳根 孝明

コロナ禍生活も2年目となり、少しは慣れたと思いきや、さらなる対応も求められる戸惑いつつ過ごした2021年。当分区では活動自粛を基本としながらも何ができるのかを探っておりましたが、主な活動としてご報告できるのは以下の3点です。まずは7月、社会を明るくする運動、例年の講演会は断念し、武蔵小山駅頭での広報活動に集中しました。会場は新設となったタワーマンション下の広場ザ・プラザ。桐友会の長谷川先輩にお世話頂きお借りしました。駅前なのに乗降客の導線を妨げることなくイベントが開催でき、昇降式のミニステージもあり、今後はここを定位置にしたいと考えております。2点目は、11月に荏原警察署の

ご協力の下開催した、薬物事犯を中心に、管内の犯罪状況をテーマとした自主研修。これで連続3回目ですが、いつも新たな知識が加わり、これからも続けていきたいシリーズです。そして3点目、これは久々のグッドニュース。なんと9月に新任保護司が当分区に4名配属されました。皆さん熱心な方々で、これからがとても楽しみです。2022年はこの2年間に蓄えたエネルギーを有効活用し、更なる分区の発展を図って参りたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



品川区更生保護サポートセンターの運営状況について

品川区更生保護サポートセンター 事務局長 石坂 啓

品川区更生保護サポートセンターは、令和元年7月17日に開所して以来、保護司の方々の面接や会議等での施設利用並びに保護司会会員はじめ関連する諸団体の方々への連絡等の事務対応を行っています。

事務局長となってからは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、企画調整保護司の皆様のご当番回数や施設利用が減少する一方で、東京保護観察所などからの連絡事項が例年より多く、昨年度末から今年度にかけてこうした対応に終始している状況です。新しい取り組みとしては、東京保護観察所が進めるICT化の方針に従い、ZOOM会議を開催する環境を整える等ソフト・ハードの両面での対応を行っており、新しい試

みとして品川区保護司会のホームページや品川区保護司会LINEの立上げを行い、情報提供の手段も広げてきています。

面接や会議などに利用される利用率につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、20%程度となっています。

今後の課題としては、企画調整保護司として各分区からITに詳しい方を推薦いただいておりますので、この方々を中心にICT化推進に向けて本格的な活動を展開できるよう推進していくことが挙げられます。

最後に、会員の皆様からのご要望に踏まえながら品川区更生保護サポートセンターの充実を図ってまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



地域活動部活動報告

地域活動部長 原 健治

品川区保護司会地域活動部では、前年度からの新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言等の発令期間が長引き、予定された活動内容が二転三転するなど感染状況に左右された運営となりました。保護司会の皆様や関係団体の皆様におかれましては、こうした混乱の中、寛容なご配慮とご協力ご理解を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年度に中止を余儀なくされた活動をコロナ禍においてでも行うことは、犯罪予防活動を途切れさせずことなく、地域社会へ浸透を図ることからも重要であると考えました。活動にあたり、感染防止対策を徹底するのは勿論のこと、熟慮を重ねた上で、感染リスクを極小に抑える内容に変更するなど慎重に進めました。

『社会を明るくする運動』では、7月が強調月間に当たるため、1日に「駅頭一斉広報活動」、30日には「中央大会」をおこない、

地域住民に対しての啓発活動に従事いたしました。今年度は「生きづらさを、いきていく。」というテーマで、立ち直ろうとする人に寄り添い、それを受け入れていくコミュニティの大切さを唱えました。

『しながわ地域貢献活動展』は、感染拡大防止の観点から今年度に限って、各団体の活動紹介動画を作成し、品川区公式YouTubeチャンネル「しながわネットTV」にて配信することになりました。保護司会もこれに参加して、私たちの活動を広く発信し、地域でさまざまにつながりを持ちたいと思います。



社会を明るくする運動 JR 大井町駅頭
(令和3年7月1日)



研修部活動報告

研修部長 井門 敏明

おめでとうございます。本年度5月の品川区保護司会の総会にて研修部長を任命されました、井門敏明です。

保護司となって6年目のまだまだ若輩者ですが、本区の活動のお手伝い出来る事は大変名誉な事で有り、とても緊張をしています。

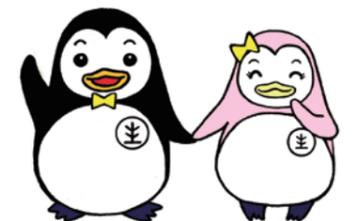
このコロナ禍で、会議や催し事などが中止になっていく中、ようやく第III期地域別研修を行える事になり、自分の初仕事となりました。研修部の仲間と一生懸命にコロナ禍前の様に皆様の活動をお手伝い出来るよう、地域別研修、自主研修

など、いろいろな研修活動をやりたいと思っています。

まだまだ、自分自身も勉強半ばでございます。皆様のご指導・ご鞭撻にて自分も勉強したいと思っています。

重ねてではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

今後の予定
令和4年2月17日
第三期定例研修
令和4年3月17日
自主研修





令和3年度

第3ブロック保護司組織運営連絡協議会報告

品川区保護司会総務部長 石坂 啓

令和3年度第三ブロック保護司組織運営連絡協議会が、令和3年10月26日に実施されました。

今回は、大田区保護司会が当番区ということで、会場を大田区の田園調布せせらぎ館 第1多目的室A・Bで行いました。

コロナ過が少しずつ収まってきた状況の中、会場には、東京保護観察所の古川所長をはじめとする関係者及び、各区保護司会の会長、パネリストと、大田区保護司会の関係者60名が参集し、ライブ配信で行われました。

協議題は、『保護司活動のICT化について』ということで、パネルディスカッション形式で行われました。

各区よりICT推進の進捗状況報告が行われた後、ファシリテーターと呼ばれる司会者が、質問し、各区のパネリストが答えていくという形式で進められました。

良かった点としては、当保護司会はICT

化が進んでいることが確認できたことです。一方、デジタルデバインド(コンピュータやインターネットなどの情報技術を利用したり使いこなしたりできない人との間で生じる格差、情報格差のこと)への配慮として、スキルを持った方を育成することがすべての保護司会でICT化推進活動喫緊の課題としてとらえられているということが確認できました。

今回の協議会は、今後のICT化の推進に向けて、少しずつ動き出したということが感じられる協議会でした。

惜しまれる点は、ホストがウェビナー(画像を配信する)モードのため、会場全体の雰囲気共有できず、松尾会長の様子が映らなかったことです。

最後に、リモート参加された皆様はじめ協力いただきました関係者の皆様、本当にお疲れさまでした。



大田区田園調布せせらぎ館



サポートセンターにて、第3ブロック保護司組織運営連絡協議会をライブ視聴していた様子です。

退任のあいさつ



退任いたします

荏原西分区 青木 義雄

24年の長きに渡り勤めました保護司の任を、昨年の9月16日をもって、ようやく解かれました。保護司の役割や知識など全く無い所からのスタートでした。

先輩の方々や、観察官の指導の下、犯罪をして

しまった者たちの改善更生を助けて来ました。私自身、さまざまな対象者と向き合い、家庭環境、社会環境を整えることがいかに大切であるかを学んだ気がいたします。これからの社会の仕組みは益々複雑になり、保護司の役割もいっそう難しいものとなるでしょう。担い手の減少にもつながり、大変な時ではありますが、重責を担う保護司としての皆さまのご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。ご指導いただきました皆さまに、重ねて、お礼申し上げます。

特例再任のあいさつ



感謝

荏原東分区 高村 幸弘

少年補導員を務めた経験で、少年に関し

ては自信を持っていたつもりが、保護司の多角的な活動には、先輩をはじめ多くの方々のご指導で成し遂げられたと思っています。皆様に感謝申し上げます。



今迄培われてきたことを活かす

品川区保護司会 顧問

荏原東分区 太田 明

保護司を委嘱され今年で35年目を迎えます。昨年9月に退任の予定でしたが特例

再任保護司として、もうしばらく努力してみたいと思います。お役に立てることを、心の支えとして邁進します。



特例再任保護司として定年を迎えます

荏原東分区 松澤 利行

保護司の定年を迎える一年前に法務省からの依頼で保護観察対象者を預かることになりました。期間は二年、保護司としての

活動の最後まで、特例再任制度のお陰で対象者を預かって活動でき定年を迎えることに感謝しております。品川区保護司会の皆様、ありがとうございます。

新任のあいさつ



保護司になったきっかけ

大井分区 三津山 真弓

私は3年位前から、刑務所の受刑者の方々の所内教育や職業訓練に興味を持つようになりました。最初は受刑者の方々へ職業訓練をする法務技官になろうと思いました。しかし応募にあたり資格等の要件が足りません。そこで受刑者

や出所者の方々にはどういったサポートが必要で、現状どういったサポートができるのか?色々調べた結果、保護司にたどり着きました。保護司は立候補で応募ができるのか不安でしたが、東京保護観察所に電話で応募しました。その後、千代田分区長に面接して頂き、無事に昨年12月に委嘱されました。まだ新人でわからないことだらけですが、社会を明るくするために精一杯活動していきたいと思っています。

新任のあいさつ



一人ではない あなた

大井分区 堀江 荘平

令和2年12月より保護司を拝命しました堀江荘平です。八潮団地で同じ棟に住む吉澤先生にお誘いいただき、一度はお断りしましたが、少年院や児童相談所などの縁の下で社会を支える方々の働きを知る機会があり、その方々のご苦勞を僅かでも分かち合うことができればとの思いから、保護司を目指しました。とはいえ、漠然と保護

司の仕事を想像するのと、実際に拝命した時に感じるものはまるで違い、ただ責任の大きさに驚くばかりでした。不安にも思いましたが、一人で抱えてもどうにかなるものではないことと理解しました。多くの方々の支えがあつての私であるように、対象者には「あなたは決して一人ではない」と伝えていきたいと思ひます。



新任保護司として

品川分区 井上 明裕

コロナという言葉すら知らなかった2019年、尊敬するボランティア活動の先輩に誘われこの世界に入る事になりました。それから2年、思い返せばダイヤモンドプリンセス号が横浜に寄港し、日に日に社会状況がコロナを中心にまわるようになり、そしてステイホームから幾度かの緊急事態宣言。決して恨み節ではありませんが、何

も学べず、活動もできず、ただ保護司という名前だけで取り残されていたようなそんな気もいたします。ウィズコロナ……これからは新しい生活スタイルで臨んでいく事になるのでしょうか。自分の置かれている環境を踏まえながら、まずは出来る事からやっっていこうと考えております。今後とも末永く宜しくお願い致します。



地域の力となるために

大井分区 森泉 美穂

小学校PTAに携わったご縁から、保護司にお声かけをいただきました。品川に住み28年目になりますが、振り返ると地域の方々に多くの場面で支られた日々であったと感じております。何気ない挨拶や会話を交すそんな少しの時間でさえも積み重なり大切な繋がりとなりました。保護司の役割を担うには、器が足りない

不安もありますが、私も地域の一人として寄り添い支えになれるのではないかと考えました。保護司の働きかけや社会を明るくする運動の意義をより深め、保護司活動への理解と協力を多くの方からいただけるよう、地域の力を実感している私にできることから始めていきたいと思ひます。

新任のあいさつ



保護司になった経緯

荏原東分区 金子 みゆき

令和3年5月に、保護司に委嘱されました金子でございます。

私は約20年前より民生児童委員を引き受けております。同じ民生児童委員でもある、保護司の上村きみ子さんから、保護司依頼の白羽の矢が立ちました。

保護司をなさる方は、ご立派な肩書の方々に、自分は平凡な一主婦であり、とて

も大変なお役目の保護司は勤まらないと、お断り致しました。

再度のお声掛けがあり、私も60代半ばに入り、又新たに何か社会にお役立て出来るのならばと考え、お引き受け致しました。スタートラインに立ったばかりでございますが、精進してまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



保護司に就任しての意気込み

警視庁大崎警察署少年係長 相馬 敏幸

現在の少年を取り巻く環境は、コロナ過における児童虐待の増加、スマートフォン等による自撮り被害や特殊詐欺をはじめとする凶悪犯罪に巻き込まれる事案が多発しています。

このような情勢の中、少年係長としての経験を生かして、各種警察活動を通じて家庭内暴力等の問題を抱えた少年や子供の育成に悩む保護者を早期に把握し、必要な指導・助言等を行な

うと共に早期解決を図るために児童相談所など関係機関との連携を図り、また少年警察ボランティアとの少年補導活動、小中学生を対象としたセーフティ教室などにより少年犯罪の未然防止や再発防止に取り組んでいきます。終わりに、品川区保護司会の皆様方には、本年も警察業務に深いご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお祈り申し上げます。



地域に早く貢献ができるよう励みます

大井分区 加藤 大

昨今の頃は保護司という言葉も知りませんでした。品川区に引っ越して来てから早10年以上が経ちましたが地域活動はあまりしておらずモヤモヤしていました。そのような時期に友人から保護司という制度があることを教わりました。元々興味があった分野だったのでインターネットで調べてすぐに分区長に問い合わせ

をし、今に至っています。

明るい地域社会のためという大きな目標を持ちつつ、向き合うのは一個人という事を忘れないことが大切だと思っています。地道に保護司の先輩方からいろいろ学び、焦らず長期的な目で今の時代に求められる保護司のあり方を模索して行こうと思ひます。

新任のあいさつ



新任のあいさつ

荏原西分区 野村 高士

小学校 PTA 連合会の繋がりで松尾様より保護司というお話を頂きました。

私自身が経験した事がないような家庭環境で育った方のお話も伺いました。

自分がそういった方に対して何ができるかわかりませんが、お話を聞き、先輩方に助言を頂きながら関わっていきます。

実際に体験してから気付く事も多いと思いますが、経験して良かったと言えるよう頑張ります。

学生時代から続けてきた柔道は現在五段になりました。

これからどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



新たな一歩

荏原西分区 三瓶 恭行

私は、松尾会長よりご紹介いただき、保護司になることになりました。保護司に対しての知識が全く無い状態でしたので、お受けするのも大変不安がありましたが、私を信じてくださっていると、又、社会貢献にも繋がると感じて決意を固めた次第です。

担当させていただく方々には、寄り添いながら良き相談相手になれるように心掛け、

その方々と一緒に人間的にも成長していきたいと思ひます。私の信条は「人に優しく、いつも笑顔」です。甘い考えかもしれませんが、一人一人が少しでも優しさを持ち、相手の気持ちを尊重できれば犯罪もなく世間が明るくなっていくと信じています。

微力な私ですが、諸先輩方のご指導、ご鞭撻をいただき、自分自身も新たな一歩を踏み出していきたいと思ひています。



保護司になったきっかけ・今後の意気込み

荏原西分区 大倉 考裕

皆様初めまして。大倉考裕と申します。令和2年9月17日に保護司を拜命し、荏原西分区所属として活動させて頂くことになりました。品川区区議会議員として現在3期目の38歳です。生まれ育ちました小山台、荏原、西五反田地域で主に活動をさせて頂いております。この度、松尾会長始め地元の先輩方にお誘ひ頂き保護司になるこ

とを決めました。近年、日本の検挙数から見る再犯者率の相対的な上昇を見ると、再犯防止や社会復帰を支援する保護司の重要性を改めて感じます。地域社会の安全安心に貢献し、個人及び公共の福祉に寄与する保護司の目的に資するよう微力ですが取り組んで行きます。今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願ひいたします。

事業報告

品川区保護司会 総務部長 石坂 啓

総務部 事業報告

月 日	事業項目	場 所	参加人数
1月7日	品川区新年賀詞交歓会・中止	きゅりあんイベントホール	
1月12日	役員会（特例再任保護司通知送付作業）	サポートセンター	会長他3名
1月15日	広報部会：会報44号発送作業	区議会棟6階第1委員会室	15名
1月18日	役員推薦選考委員会	サポートセンター2階	鷲尾副会長他10名
1月19日	再犯防止に関する研修会基礎編	サポートセンター2階・オンライン	会長他9名・区職員1名
2月12日	理事会	区354会議室	24名・石坂保護司
2月18日	第Ⅲ期地域別定例研修「薬物事犯者の処遇について」	テキスト自習	各保護司
2月20日	新任保護司研修会	サポートセンター2階	会長・研修部長・新任4名
3月7日	世界保護司会議（YouTube）	サポートセンター	松尾地活部長・石坂保護司
3月11日	BBS 臨時総会	サポートセンター2階	松尾地活部長・区職員2名
3月18日	保護司・更女・BBS 会代表者協議会・研修会	サポートセンター2階・ZOOM	会長・地活部長・石坂保護司
3月19日	会長選考規定作成委員会	サポートセンター2階	鷲尾副会長他11名
4月6日	会計監査・予算委員会	サポートセンター2階	会長他7名
4月20日	常務役員会・理事会	区役所253会議室	常務役員会15名・理事会27名
5月26日	定期総会	きゅりあんイベントホール CDE	90名(内委任21)・来賓12名
5月27日	東京保護司代表者協議会①・東保連理事会リモート	サポートセンター	会長
6月2日	保護司会会計事務担当者運営連絡協議会 ZOOM 会議	サポートセンター	鈴木会計部長・林会計副部長
6月1日	部長会	サポートセンター2階	会長他5名
6月9日	理事会	荏原第5地域センター第一集會室	会長・他21名
6月9日	地活部会	サポートセンター2階	12名
6月11日	区長表敬訪問	区役所区長室	会長他5名
6月24日	地域別定例研修Ⅰ期・中止	テキスト自習	
6月28日	広報部会	サポートセンター2階	会長他11名
7月1日	第71回社明街頭一斉広報活動	品川区全域	区長・保護司・関係者延べ525名
7月8日	第71回社明青少年善行表彰審査会	区役所251会議室	区職員4名・会長他8名
7月9日	会長選考規定作成委員会	サポートセンター2階	鷲尾副会長他10名
7月29日	広報部役員会	サポートセンター2階	6名
7月30日	第71回社明中央大会・区民愛のつどい	きゅりあん小ホール	会長・地活部長他33名・関係者59名
8月27日	部長会	サポートセンター2階・リモート	会長他5名
9月6日	「再犯防止に関する研修会」応用編	サポートセンター2階	6名
9月10日	「再犯防止に関する研修会」基礎編	サポートセンター2階	4名
9月14日	ICT化推進担当保護司「顔合わせ会」	サポートセンター2階・リモート	総務部長
9月17日	広報部役員会	サポートセンター2階	5名
9月27日	常務役員会・理事会	荏原第5地域センター第一集會室	常務会：会長他10名、理事会：会長他19名
10月4日	しながわ地域貢献活動展撮影	区役所255会議室	会長・地活部長
10月8日	地域別定例研修Ⅱ期・中止	テキスト自習	
10月18日	研修部会	サポートセンター2階	会長他11名
10月18日	新任保護司研修会	サポートセンター2階	会長・研修部長・総務部長・新任6名
10月19日	「サポセン通信」編集会議	サポートセンター2階	企画調整保護司13名
10月19日	処遇会議	サポートセンター2階	木崎前会長・他9名
10月25日	広報部会	サポートセンター2階	7名
10月26日	第3ブロック保護司組織運営連絡協議会	大田区田園調布せせらぎ館第1多目的室A・B及びリモート（サポートセンター他）	会長・総務部長・13名
11月5日	会長選考規定作成委員会	サポートセンター2階	鷲尾副会長他8名
11月15日	広報部会	区議会棟5階第4委員会室	13名
11月18日	日本更生保護協会オンライン講演会第5回	サポートセンター2階	4名
11月22日	顕彰式典	東京建物 BrilliaHall（池袋）	3名
11月29日	部長会	サポートセンター2階	会長他5名
12月1日	令和3年度保護司特別研修「更生保護サポートセンターの運営について～ICT化推進に向けて～」	東京保護観察所（本庁）集団処遇室（法務省1階）	総務部長
12月7日	理事会・忘年会	蔵	理事会26名・忘年会20名
12月17日	広報部会	区議会棟5階第4委員会室	会長他9名